

2人が100歳を迎える

加賀美チヨさん100歳の誕生日

加賀美チヨさんが、3月16日(水)、入所しているグループホームやまなみで100歳の誕生日を迎えられ、小野町長から顕彰状と祝い金などが手渡されました。

町長からは「100歳おめでとうございます。120歳と言わず150歳まで長生きしてください」と声をかけると、木村さんは「このような賞を賜り誠にありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

加賀美さんは、大正5年に旧五所川原町に生まれ、昭和15年に加賀美清三郎さんに嫁ぎました。おしゃれで出かけるときはいつも着物を着るそうです。

誕生日のこの日は、かけつけた親戚の加賀美千代春さん、ツヨエさんと入所者や関係者約30人がお祝いし、セレモニーでは自分の似顔絵が描かれたケーキやプレゼントに笑顔を見せていました。



秋元つるさんの100歳を祝う

秋元つるさん(派立中)の100歳を祝う顕彰が秋元つるさん宅で行われ、親戚や近所の住民らがかけつけお祝いしました。町長からは「100歳おめでとうございます。なんとと言っても1人暮らしというのが素晴らしい。体に気をつけてこれからも長生きしてください」とお祝いの言葉を伝えました。



秋元さんは「こんなに大勢の人に祝ってもらって嬉しい。ありがとうございます」とうれし涙を流しながら話しました。

秋元さんは大正5年に旧蟹田町に生まれ、昭和43年に秋元平八さんに嫁ぎました。現在は自宅に1人で暮らしていて、自ら家事や畑仕事もこなしているそうです。

姪の米塚千鶴さんは「自分で何でもするのが、ぼけない秘訣だと言っていた。近所の人たちの支えもあってこの日を迎えられたと思う。」と話していました。

たくさん勉強して欲しい

教育委員会に鉛筆を寄附

3月8日(火)、中泊自動車組合(会長・竹内覚)が町総合文化センターパルナスを訪れ、町教育委員会に毎年恒例の寄附をしました。

今年は鉛筆70セットを寄附し、竹内会長は「子どもたちに使ってもらえたらうれしい」と話していました。教育委員会では、管内小学校の新入生児童に配るそうです。加藤教育長は「大変ありがたい。子どもたちも喜ぶと思う。これで勉強をがんばってほしい」と話していました。

